

## 活動報告書

報告者氏名：藤井 契 所属：大分県立竹田支援学校 記録日：平成 24 年 6 月 10 日～  
平成 25 年 2 月 15 日

### 【対象児（群）の情報】

- ・ 学年  
高等部 2 年
- ・ 障害名  
自閉症など
- ・ 障害と困難の内容  
時計を読むことが難しい

### 【活動目的】

- ・ 当初のねらい  
iPad で余暇を楽しむ姿が見られていたが、やめることが出来ずにいた。そこで、内蔵の時計アプリのタイマー設定を使うようにした。
- ・ 実施期間  
自立活動  
(平成 24 年 6 月～平成 25 年 2 月)
- ・ 実施者  
亀井 和浩
- ・ 実施者と対象児の関係  
担任

### 【活動内容と対象児（群）の変化】

- ・対象児（群）の事前の状況

時計やキッチンタイマー、砂時計など。いろいろな時計での学習を行った。  
どれも活用することが難しかった。

- ・活動の具体的内容

生徒と一緒に相談しながらタイマーをセットすることを続けた。

- ・対象児（群）の事後の変化

「10分休憩しよう」の言葉かけで、自らタイマーをセットする姿が見られるようになった。

### 【報告者の気づきとエビデンス】

- ・主観的気づき

昨年度に比べると、タイマーの時間を守ることが多くなった。学習や作業の間にiPadで楽しむことができる安心感が芽生えたことも大きいと感じている。

- ・エビデンス（具体的数値など）

始めた当初はタイマーが鳴っても、すぐに次の行動に向かわないことが多かったが、現在は5回に4回のペースで次の行動に移ることができる。

- ・その他エピソード（画像などを含めて）

タイマーを活用するだけの活動ではなく、その周辺の環境を整えたことも大きかった。たとえば、スケジュールに休憩を多く取り入れること。教室の隅にスペースを設けること。また。

生徒：タイマーを20分に設定

担任：「それは多いよ10分でどうかな」

など、どれくらいの時間が必要かを2人で相談することが多くなってから、タイマーの活用ができるようになったと感じている。

